



お年寄りの方々の移動手段が少ないことです。公共機関のバスも本数が少なく、また、利用料金が高額なので、なかなか日常で利用するのは難しいです。同じ東広島市でも、西条駅からは市内を定期ルートで走り、通常より安い定額料金で乗車できる「のんバス」というものがあるそうです。そんなバスが私たちの住んでいる高屋にも走っていたら、たくさんの方がより身近に白市の重要文化財を感じてもらえるきっかけになると思います。また、私たちや地域のお年寄りの方々の移動手段も便利になり、もっともっと白市が活気あふれる地域になるのになと思います。

近年、ヒートアイランド現象が問題になっています。都心部ではその影響で、平均気温が三度以上上昇しているそうです。今年の夏は今まで以上に暑い夏でした。私は今こそ、東広島市全体でヒートアイランド現象に対する取組を考えるべきだと思っています。緑あふれる公園、見ているだけで涼しくなるよう

な大きな噴水、ソーラー発電を使用し、電気を使わなくても明るく照らされるようなスペース。また、私が大好きなジブリ映画の中に出てくるような、土の道路に大きな木がたくさん生えて木陰の道を気持ちよく歩けるような空間。非現実的かもしれないけれど、まずは私が住んでいる白市が、そんな自然いっぱいです。てきな町になればいいと思います。どんどん、いろんなことが進化し便利な生活をすればするほど、地球から緑が減り、地球温暖化に拍車をかけるヒートアイランド現象に對し、それらを抑制するための取組（緑化、節電など）を、東広島市から世界中に向けて発信していきたいです。

最後に、私は四人兄弟の三番目で、毎日にごやかに楽しく暮らしています。時々けんかもするけれど、一緒にいることで助けられたり、元気をもらったりして、兄弟がたくさんいることの幸せを感じています。その一方で、世の中は少子化がとても深刻な問題となって

います。それなのに東広島市では、赤ちゃんを産むことのできる病院が今は二つしかないと聞きました。私が産まれた病院も、今は赤ちゃんを産むことができなくなつたと聞いて、とてもさみしく感じました。赤ちゃんを安心して産むことができる環境、安心して育てることができると、制度や施設がたくさんあれば、子供も、そして大人も笑顔になる町になると思います。

この東広島市が、緑でいっぱいになること。大人も子供も、楽しく元気いっぱいな活気あふれる町になること。これが私の思い描く、東広島市の未来です。